

こども若者★いけんぱらす
いけんひろば

～中学校の休日の運動部活動の
地域クラブ活動への移行について考える！～

報告資料

令和5年10月28日(対面開催)

目次

① 日ごろの部活動/地域のクラブ活動について思っていること

- 部活動/地域のクラブ活動の仕組みのこと
- 活動に関わる人のこと（活動に対する取り組み姿勢、顧問・指導者、活動人数など）
- 活動環境のこと（活動日時・頻度、活動場所など）
- 活動内容のこと（柔軟な活動の実施、多様なスポーツの実施など）

② 普段、運動・スポーツに親しんでいない中学生が、運動・スポーツに参加する方法

③ 魅力を感じる部活動



概要

テーマ	中学校の休日の運動部活動の地域クラブ活動への移行について考える！
担当省庁	スポーツ庁
開催日時	令和5年10月28日（土）14:00～16:00
開催場所	東京都千代田区大手町1-2-1 Otemachi One タワー18階（PwCコンサルティング合同会社内会議室）
参加対象者	ぷらすメンバーのうち、中学生世代
参加人数／グループ数	○1班：5名 ○2班：4名
質問例	<p>① 今後、休日の学校部活動の代わりに行われる地域クラブ活動で、新しく取り組んでみたいことはありますか。</p> <p>② どのような活動内容であれば、普段、運動・スポーツに親しんでいない中学生が、休日の地域クラブ活動に参加してくれると思いますか。</p>

- 部活動/地域のクラブ活動の仕組みのこと など

部活動の仕組み・ルール

○部活動の新設

- 学校のルールとして、提案して新しく部活を増やすことができない。既存の部活動の中から選ぶルールになっている。

○入退部

- 部活に入ってからすぐやめる子もいる。団体競技なのに急にやめられると困ってしまうし、部員に迷惑がかかる。ゆるすぎても良くないかもしれない。
- やりたい部活がいくつもあると、ひとつに決めるのは難しい。一度入ってしまったら抜けるのも悪い気がする。仮入部の制度をもっと充実させたら良い。
- 成績表でも「途中で辞めた」と書かれて印象が悪くなるのが心配。

○兼部（かけもち）

- 色々やってみたい。自分の学校では部活を変更することもできるが、ほとんどの人は変えない。部活を変えるには退部届を出す必要があるので、先生に交渉するのも大変。様々な部活・いろんな種目を体験して楽しむことができると面白いと思う。
- 入部前は他の部活もやってみたかったが、最終的に1つの部を選んだ。他の部活動にも良いところがあった。休みのタイミングを調整して兼部できるシステムがあったらいい。



○大会への出場

- 部活に入っていないと出られない大会がある。そのため、大会のために部活に入って幽霊部員になる人もいる。

参加時の金銭的負担

○部活動について

- 挑戦してみたい部活はあるけど続けるかは分からない。道具一式そろえるのにもお金がかかるから、貸出をしてもらいたい。
- ある部に入ろうとした友達は、道具の購入が必須で高額な上に部費やメンテナンス費もかかるので、結局入らなかった。

○地域のクラブ活動について

- 地域のクラブでは貸出があるので、入りやすい方だと思う。
- 地域のクラブに入ると結構なお金がかかってしまう。学校だったらお金もかからないし教えてくれる外部の先生も有志なので、無料で成り立っているのが良い。大会出場にかかるお金も学校から補助が出る。金銭面で外部のクラブに入るハードルが下がればいい。



- 活動に関わる人のこと

活動に対する取り組み姿勢



○部活動：人により差があるところがある

- 部活の中には趣味だから、好きなことだからやりたいという考えの人もいるし、賞などを取って推薦で高校に行く真剣な人もいる。指導者の人数を増やしたら、どちらのタイプも見えてあげられると思う。
- 楽しみのためにスポーツをやっている人とガチの競技をやっている人の差が大きい。
- やる気のない人は先生が何を言っても変わらないと思う。先生が怒ると空気も悪くなってしまふ。やる気のない人がいると和を乱すことになるので、排除してもいいと思う。クラブ活動じゃなくて部活ならある程度仲良くするのも大事だけど、エンジョイしたい人と、大会で勝って実績を積みたい人のバランスを取れたらいい。
- 部活がハードなのに勉強もたくさんあって大変。部活を大会にでることが目的ではなくて、楽しむことを目的にしてほしい。
- 中高一貫校に通っている。高校には体育進学クラスがあり、体育をするために進学してきた人もいる。中学生は高校生のプレイを間近で見ることができるから、そのために部活に入りたいという子がいる。全国大会に出ている部活動に入りたいという理由で入学している子もいる。

○地域のクラブ活動：自主性が高いところがある

- 部活に入らないで地域のクラブに入っている子もいる。部活が地域移行しても、元々部活に入っていない子は変わらないと思う。学校に部活という枠をつくるよりは、やりたい人が地域のクラブに行き行ってやる方が、続ける義務感の問題もなくていいのかなと思う。
- 地域のクラブは部活ではないから、行きたくない人は「行かないといけない」という使命感もない。
- 毎週土曜日にスポーツの教室に通っている。学校で部活動に入っているけど、参加することができる。友達も連れてきていいことになっている。発表会に向けてみんなで団結して頑張っている。みんなで楽しく、踊りの基本から練習している。その教室はいつでも休んでいいスタイルで、気軽に来てくださいと言われてる。



- 活動に関わる人のこと

実力に応じた配慮

○部活動：中でのレベル分けが必要

- 意欲なども考えてレベルごとに分けられたら進めやすい。
- 意欲があっても実力に違いがあることもある。スポーツだと初心者はすぐには強くない。初心者は対戦相手にはなれても練習にはならない。レベルで分けた方がいい。
- 経験者と初心者と強さが違う。指導の仕方を考えてほしい。
- 1年生と2年生でレベルが違って、基本低い方に合わせないといけなくなっている。
- 自分の部活では初心者的人是十分に基礎が出来ていないのに、レベルの高い人にあわせて難しいことをやっている。
- 部活では同じ人との対戦ばかりなのでワンパターンになるし、互いに同じ練習をするから同じくらいの実力になって、強くなれているか分からない。

○部活動：入りやすいような配慮が必要

- 初心者の人でも部活に入りやすくしてほしい。
- 途中から部活に入るとは気が引ける。学年関係なく同じレベルからスタートだと良い。



○地域のクラブ活動：レベルが分かれている

- 通っているクラブは指導者がいっぱいいて学年などで分けて指導しているので、レベルの違いで困ることはあまりないと思う。
- クラブは初級、中級、上級などとレベルが分かれている。

人間関係

- 学年間の仲の良さなど人間関係が問題になって、モチベーションに影響している。
- 意見を言いたいけど先輩だから気を使ってしまって言いにくい。もっと話やすくしてほしい。
- 部活動は入りにくいし辞めづらい。途中から入ろうとしても雰囲気のできているので、入りにくい。
- 部活を辞めると部活の中でポジションが1つ空いてしまうので、誰がやるかということになってしまう。



- ・ 活動に関わる人のこと

顧問・指導者（1）

○部活動：指導ができる顧問・指導者が少ない

- ・ 今の部活は練習場所が狭いし、部員20人に対して指導者も1人しかいない。20人を1人で見るのは無理がある。実力的には3～4グループに分けられるが、グループ分けして練習する場所もない。コーチを増やせたらいいと思う。
- ・ 部活に教えられる人が先輩しかいない。コーチが1人いるが、全く練習に来なかったりする。メッセージアプリなどで質問をしても、曖昧な答えしか返ってこない。はっきりしてほしい。クラブチームと違って指導者が真剣に取り組んでくれない。
- ・ 学校の先生では生徒に教えることができなくて困っている。経験者でない先生が部活の顧問になぜなれるのか。
- ・ 顧問の先生が、知識もなくてよく知らないのに口を出してくることがある。経験のない人に言ってほしくないと感じる。教えてくれるわけでもないのに、こどもがケガしないように部活の時間中はただそこにいてくれるだけでいいのと思う。
- ・ 顧問の先生が部員たちをゲームキャラだと思っているように感じることもある。少し休んだら全回復するわけじゃない。動きとして無理があることもある。指摘されたからと言ってすぐ直せるものでもない。具体的な直し方は教えてくれない。
- ・ 部活の数は先生の人数に合っているのか。部活が少なくて部活動の担当として余っている先生はどうするのか。逆に自分の学校は部活が多いが先生が足りていなくて、生徒に目が行き届かない。
- ・ やりたい人がいればそれだけでクラブは作れる。指導者は見つけれたらいいねという感じで、好きなようにやっていけばいいんじゃないかなと思う。

○部活動：顧問・指導者が怖い

- ・ 先生がこわい。道具を蹴り飛ばされたこともある。
- ・ 部活の顧問の先生のキレ方が理不尽なことがある。
- ・ 部活のコーチの対応や先輩の言い方がこわい。
- ・ 部活の練習で分からないところを聞きやすくしてほしい。

○部活動：進め方がその時の顧問によって変わる

- ・ 顧問の先生が外部指導者と別にいるが、顧問の先生が変わると部活動のシステムがガラッと変わってしまう。顧問が変わると指導者が2～3人になってしまうので、どの指導者が言っていることが正しいのか分からなくなってしまう。



- ・ 活動に関わる人のこと

顧問・指導者（2）

○質の高い指導を受けたい

- ・ ダンス教室ではプロの人に教えてもらえるので、学校でやるよりも教室の方がレベルが高いかもしれない。
- ・ 顧問が不在になったとき、臨時でプロの指導者が代わりに指導をしてくれて質が上がった。やはりプロだからかなと感じた。友人とも話して、本当はプロにお願いしたいという話になった。プロに教えてもらう重要性を感じた。定期的に学校の部活に来てもらえると、学びになると感じる。
- ・ 外部の先生が、週に1回部活に来てくれる。その先生の指導だとタイムが伸びる。その先生は何十年も陸上に関わっていて、全国大会に何人も輩出している。そういった指導実績のある先生の指導の時間をもっと取れるとうれしい。
- ・ プロと一緒に走ってみたい。自分との間にどれくらいの差があるのか知りたい。自分に足りない点も分かるかもしれない。モチベーションアップにもつながると思う。
- ・ プロからアドバイスをもらってみたい。
- ・ 指導がうまい方の合同練習会があればいいのだが、タイミングの問題もあるので参加するのは中々難しい。自分から「行かせてほしい」と言って気軽に参加させてもらえると良いと思う。

他校等との交流

○他校との交流を深めたい

- ・ 地域のクラブには隣の市から来る人もいる。
- ・ スポーツ少年団に入っている子は、他校の子とも会うから交流があるらしい。
- ・ もっと他校との交流を深めたい。



- 活動に関わる人のこと

活動人数



○部活動：人数が集まらない・増やしたい

- 部活動に必要な道具の貸出はできるけど、**そもそも入ってくれる人が少ない**。人気のスポーツに比べると剣道を知る機会があまりないと思う。アニメを見てもカッコいい、で終わる人が多くて、実際にやってみようという人はほぼいないと思う。**人を集める方法も大事**。
- 野球やサッカーなど団体競技では、**人数が少なくなったら成り立たなくなる**。学校によっては他校と交流を持って合同で大会に出るという話も聞く。自分の近くの学校でもそのような状況の学校が2校あって、交流を持ったらいいのと思うが、先生たちが交流を持っていない。
- **部活をつくってみたいけど、条件と部員が集まらなかったりしてつけれない**。
- **人気がなかったり部員が少なかったりして廃部になった部もあるから、人数の調整をしてほしい**。
- 剣道部の女子は男子以上に人が来ない。人が足りないときはその人数分、団体戦で相手が不戦勝になってしまう。**人数がいないと実質成り立たない**。勝ち残るのは難しく、経験を積むためだけに試合に出るという感じになる。
- 他校の様子を見ると人数が多く、規模が大きい。自分の学校は**人数が少ないので、増えてほしい**と思う。
- 最近は**上手い人は学校の部活ではなく、地域クラブに流れていて、地域クラブで全国大会に出ている**。学校の野球部は1.5チーム組めるかどうか位の人数になっている。



・ 活動環境のこと

活動場所の確保

- ・ 剣道部に入っているが、**武道場も狭くて、他の部と場所を区切って練習している**。同じ空間に1人でもちゃらちゃらした人がいると、士気が下がる。**レベルや場所の配慮がある**といいなと思う。
- ・ 入っているクラブでは場所も広くて周りを気にせず動けて楽しい。



活動日時・頻度

○部活動：より緩やかな活動が良い

- ・ やりたい部活がたくさんあるから、もう少し一つの部活をゆるくしてほしい。
- ・ 遊びでもスポーツが出来たらいい。自分自身は練習が週5,6であって、他のスポーツができない。

○部活動：活動が物足りない

- ・ 部活の練習時間が短い。
- ・ 部活の練習時間が30分しかないうえ土日練がない。

○他の都合と合わないことがある

- ・ 休日の部活動があっても、他の予定があていけなない。でもコーチが来るのが休日だけだから教えてもらえない。



・ 活動内容のこと

柔軟な活動の実施

○スポーツをゆるく楽しめる機会もあるとよい

- ・ 部活で練習ばかりではなくて、部活の内容を少し応用した遊びなどがあってほしい。
- ・ その部活に入っていない人でも、少し興味がある人が参加できるように、各部活で2カ月に1回くらい部員ではない人が参加できるようなイベントがあったらいいと思う。
- ・ 体育でやったスポーツを延長させてやりたい。授業としてはやらないが、やりたかったらもう少しやれるようにしてほしい。自分は卓球をやりたい。昔部活にあったようだが無くなったようだ。試合形式でなくていいので、軽く楽しみたい。
- ・ 遊びでもスポーツが出来たらいい。自分自身は練習が週5,6であって、他のスポーツができない。以前、クラブ活動を練習の多いコースから一般のコースにして、空いた時間で色んなスポーツを経験してみたが、よかった。



多様なスポーツの実施

○多様なスポーツをやりたい

- ・ 自分の習っているマイナーなスポーツが部活になったらいいのと思う。
- ・ 地域クラブの種類は部活動の種類よりも多いとうれしい。
- ・ やれる部活の種類が増えたり、他校の生徒と試合ができたとうれしい。

○こんなスポーツをやりたい

- ・ パルクールをやってみたい。
- ・ スキーをやりたい。スキーができる地域までとても遠い。地元では、雪が1cm積もったら奇跡。
- ・ 球技系のスポーツをやってみたい。ラグビーに関心がある。球技は苦手だが、ボールを触ったり投げたり蹴ったりしてみたい。
- ・ 弓道をやってみたい。カッコいい。

- その他のこと

その他

○スポーツで身体を動かす楽しさを知ることができる

- ダンス教室に通っているが、**身体を動かす楽しさを学べた**。他の室内競技もはじめて汗をかくこともできるし、集中力も上がる。
- 小さいころから身体の使い方を学ぶことで、小中学生になった時にマット運動が得意だったり、サッカーの授業で活躍したりしている。活躍できると楽しい。**小さい頃から身体の使い方を学んでいれば、楽しさを知って運動部に入る子も増えると思う。**

○部活動：効率的な練習ができるとよい

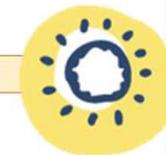
- 部活ではだらだらして1,2時間練習することが多いから、もっと時間を有効活用してもらいたい。

○部活動：部の扱いに差がある

- 運動部同士でも学校内で強さに順位がついてくる。例えば「野球部は強い」などがある。その**順位によって先生が応援する部活も決まってきて、その部活だけ練習量を増やすなど、優遇されている。**

○部活動：予算がない

- **予算がなくて武道場が修繕されない。**



○部活動：安全対策に不安

- **夏の暑い日でアラートが出ている日に、部活があるのかないのかをはっきりしてもらいたい。**

○練習が厳しい

- 練習がきつい。痛いのもキツイのも苦しいのも嫌なので、行きたくない気持ちが出てくる。環境はいいし行けば強くなれるけど。





普段、運動・スポーツに親しんでいない中学生が、 運動・スポーツに参加する方法

- 生徒が無料で参加できるよう市区町村が費用を負担してくれたり、募集の際に「初心者でもやさしく教えます」と記載されたりしていると初心者でも安心できる。お金がかかるとしても、月1万円払うよりは1回につき2500円払う、というように都度支払いにした方が**良い**。「お金がかかるから休めない」という気持ちが払拭されて**気軽にスポーツを始められる**。
- **自分の家に近い場所にあった方が参加しやすい**。さらに、「学校の内申書にも書きますよ」とアピールすると、スポーツをやっていない人でもメリットを感じて始める人が増えると思う。
- **クラブ活動に途中参加するのはためらう**と思う。同学年の人と一緒にやるのではなく、2年生でも1年生と一緒にやることにした方が同じ初心者なので楽しくできると思う。
- 内申書を気にして、部活に入らなければならないとプレッシャーになってしまい、進路にも関わってくるかもしれない。**部活については内申書に書かれることをそこまで気にしなくてもいいようなシステムができればいい**。「内申書のために部活に入った」という人がいるよりも、そうでない方がみんな楽しくできる。
- **いろいろな競技を練習の一環として経験できる**といいと思う。バスケットボールやバレーボールなどのレクリエーション的なものを土日にやったりできるといい。そうするともっとたくさんの人が入ってくれそう。

普段、運動・スポーツに親しんでいない中学生が、 運動・スポーツに親しんでいない理由

- **クラブチームが全体的に小学生までということが多いので、中学生が参加できない**。いろんな人と交流できる運動施設があれば、それを目的に運動しに行けると思う。
- 勉強に熱心な学校に通っていて、勉強しないと追いつけない雰囲気がある。放課後に自由な時間が少ない。**短時間でできる運動であればいい**と思う。**最大30分くらいでできるもの**がいいと思う。
- プールに入るにしても**1回の利用料金が高い**。払ってしまうと2～3時間はいないと元が取れないと思ってしまい、行くのをやめようかなと感じてしまう。学割もないので**費用を抑えてほしい**。月間ではなく年間単位の契約で、年間で数回行けば元が取れるくらいの金額だといい。
- ボールを扱うことが苦手な友達がいって、**笑われたら嫌だ**と思っているようだ。**運動が苦手な人で集まってやれば**いいと思う。
- **小さい頃、運動が苦手でコンプレックスだった**。苦手な人が集まっているいろいろなスポーツを経験できるのであれば、得意なものや自分ができるものも見つかると思う。それをきっかけに**運動の機会が広がっていく**のではないかな。
- **地域の運動会のように、老若男女かかわらず参加できる運動イベントがあれば、地域クラブ活動に参加する人も増える**のではないかな。

• どのような部活動に魅力を感じますか。

- ① ガチ部活動（専門的な指導者（プロ経験者など）を迎え入れて競技力向上を目指す部活動）
- ② スワップできる部活動（2つの種目を行き来できる部活動）
- ③ ゆるスポーツ部活動（楽しみや友達との交流を重要視した部活動）
- ④ newスポーツ部活動（スケートボードなど新しい種目を取り入れた部活動）

<①に関する意見>

- ①ガチ部活動も魅力的だが、毎日続くと大変そう。

<③に関する意見>

- ③ゆるスポーツ部活動、ときどき①ガチ部活動がいい。
(以下は①と③を両方行うという意見に対する意見)
- ①と③の頻度は「ゆる」平日3回、「ガチ」2回のイメージ。ガチが連日だと大変なので、少しずついいかもしれない。
- 週1回で試合を入れると、試合会場で実際にやってみて、どのように動けばいいかやどこに何があるか把握できて良いと思う。
- 試合があると勝っても負けてもモチベーションが上がると思う。
- 試合会場で練習試合をすると、実際の試合で緊張しなさそう。
- 試合会場を規模が大きくて有名な会場にすれば、緊張もほぐれるし、力強くできる気がする。国立競技場などでやるイメージ。

<②に関する意見>

- 平日、土日で分けて部活をやってみるのもよさそう。
- 部活動は2つくらいがちょうどいい。例えば陸上であれば、陸上をやりつつ週に1回違うスポーツをやるイメージ。陸上は2週間に1回などがいいかもしれない。個人でのやりたいタイミングに波もあると思うし、自由に、やりたい頻度でできればいい。
- コンクールも、賞ではなく楽しさを重視できたらいい。スポーツは楽しみながらできる方がいい。

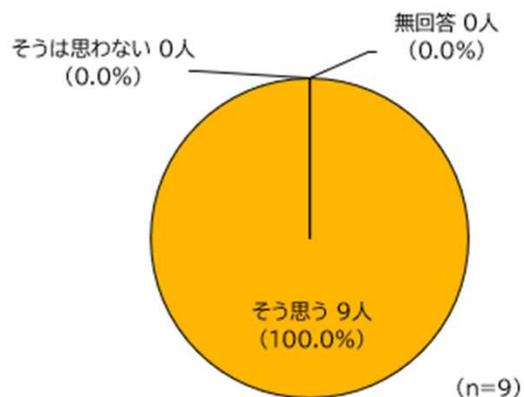
<④に関する意見>

- 体育でやらない種目をやってみたい。体育でやっていなければみんな初めてで個人差もないのでいいと思う。
- 新しいスポーツをやれたらカッコいい。例えばスケートボードや弓道はできる人が少ないから、カッコいいと思う。週1～週2くらいでできたらいい。
- 東京オリンピックの時に外国の方と一緒にボッチャをやったことがある。モルックというスポーツもあまり知られていないし、パラリンピック競技は最近知られてきたけどやったことがある人が少ない。自慢できていいのではないかな。



参加者アンケート

「いけんひろば」に参加してよかったと思いますか？



「そう思う」の理由（自由回答）

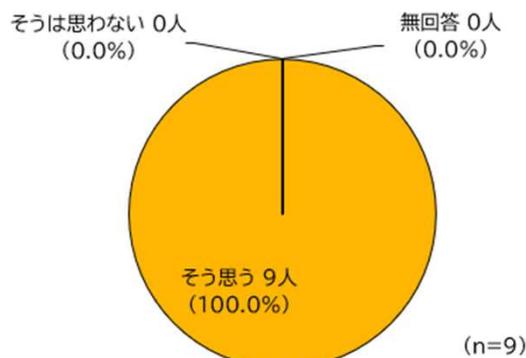
他の県から来る人もいて、それぞれの部活や地域のクラブについてとかも知れたから。

自分以外の意見も聞く事ができて、視野が広がった。円の形で話すことで、安心感が生まれ、落ち着いて話すことができた。

他の地域ではどういった話が進んでいるのか、部活の先生の話など共有しながら、共感できたのがよかったです。



今日の「いけんひろば」のテーマは、意見を言いやすいものでしたか？



「そう思う」の理由（自由回答）

部活という中学生にとって密接なテーマだったから。

参加するみなさんが、こういった公共の場に来ようと思うだけあって恥ずかしがったりしないで、簡潔に話をしたり、ゆっくり聞いてくれる環境だったのがよかったです。

司会の方が会話を分かりやすくしてくれたりしたから。



今日の「いけんひろば」の時間の長さや会場の様子などについて、気づいたことや感想があれば教えてください。

とてもゆったりした空間で、話しやすかったです。

会場への行き方をもっと分かりやすくしてください。

少人数のグループに分けることで、自分の意見が言いやすかった。グループ変えが途中にあってもいろんな人の意見が聞けるかも！？

